

## アクションプラン 検証シート (2022 年度実績)

項目番号 2- (1) - (ア)	具体的な 取組	認知症サポーターになろう！	担当課	地域支えあい課
まちづくりのテーマ及び項目 2 みんなで支え合うまちづくり (1) 認知症の人やその疑いがある人の増加に伴う対応				
事業目的・内容 認知症に関する正しい知識を有し、認知症の人やその家族のよき理解者となる認知症サポーターを増やし、認知症の人やその家族が安心して暮らすことのできる地域づくりを進めるため、平成 18 年度から、区民や地域団体・事業所等を対象とし、地域住民の要請等に基づき、地域包括支援センター等が企画して、認知症サポーター養成講座を開催している。 これに加え、東区では、若い世代から認知症を知り理解を深めることが重要であるため、小中高等学校の児童生徒や大学生を対象とした講座を年 1 回、各学校において開催している。				
○課題と対応 認知症の人やその疑いがある人の増加が見込まれるため、認知症の人とその家族を地域で支える仕組みを作る。				
○指標 認知症サポーター養成講座の実施校数			○目標値の考え方 2019 年度の実績として小学校 1 校、私学の中高一貫校 1 校が未実施のため、2020 年度までに小中高大全ての学校での実施を目標とする。 その後も全ての小中高大の学校での実施を継続するとともに、特別支援校等の実施を検討する。	
○目標値と進捗状況				
	2021 実績	2022		
		目標値	実績	進捗率
年度毎の 目標値	12 校 小学校 5/12 中学校 5/7 高等学校 0/5 大学 2/2	26 校 小学校 12/12 中学校 7/7 高等学校 5/5 大学 2/2	17 校 小学校 7/12 中学校 7/7 高等学校 1/5 大学 2/2	65%
○2022 年度の取組内容等 5、6 月に小・中学校長会で講座の開催を依頼するとともに、8 月に各地域包括支援センターに対して積極的な実施について働きかけを行った。また、2 月に小・中学校長会で再度講座の開催依頼を行い、次年度の実施に向けた働きかけを行った。				
区分	実施校			
小学校	上温品小、戸坂小、戸坂城山小、牛田新町小、早稲田小、尾長小、矢賀小			
中学校	福木中、温品中、戸坂中、城北中、牛田中、早稲田中、二葉中			
高等学校	桜が丘高校			
大学	女学院大学、比治山大学			
○2023 年度の目標値と取組方針等				
目標値	取組方針等			
26 校 小学校 12/12、中学校 7/7 高等学校 5/5、大学 2/2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多くの学校で開催できるよう、地域包括支援センターと連携して取り組む。</li> <li>・未実施校については、地域包括支援センターと一緒に行政が学校を訪問し開催依頼をする等、積極的に働きかけを行う。</li> </ul>			
○取組上の課題等 新型コロナウイルス感染症拡大前には多くの学校で開催できていたが、拡大した 2020 年度以降は、実施ができていない学校が多くあるため、拡大前の実績に近づくよう、地域包括支援センターと連携して取り組む。				
○備考				

## アクションプラン 検証シート（2022 年度実績）

項目番号 2-(1)-(イ)	具体的な取組	認知症支えあいカフェを広めよう！	担当課	地域支えあい課						
まちづくりのテーマ及び項目 2 みんなで支え合うまちづくり (1)認知症の人やその疑いがある人の増加に伴う対応										
事業目的・内容 認知症になっても住み慣れた地域で安心して生活できるよう、平成26年度より認知症の人とその家族、地域団体、医師・社会福祉士・保健師等が、概ね月1回程度、地域の集会所や病院などで気軽に集い交流を図る認知症支えあいカフェを開催している。専門職による相談・助言により、地域で認知症の人とその家族を支える体制づくりを進める。										
○課題と対応 認知症の人やその疑いがある人の増加が見込まれるため、認知症の人とその家族を地域で支える仕組みを作る。										
○指標 認知症支えあいカフェの設置地区数			○目標値の考え方 2019年度実績が8地区社協エリアであったため、2020年度目標を9地区とし、2024年度までに全地区設置とする。							
○目標値と進捗状況			<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">実績進捗率算出（積み上げ式）※2019 実績値</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">12 - 8 ※</td> <td style="text-align: center;">= 4</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">11 - 8 ※</td> <td style="text-align: center;">= 3</td> </tr> </table>		実績進捗率算出（積み上げ式）※2019 実績値		12 - 8 ※	= 4	11 - 8 ※	= 3
実績進捗率算出（積み上げ式）※2019 実績値										
12 - 8 ※	= 4									
11 - 8 ※	= 3									
年度	2021 実績	2022								
		目標値	実績	進捗率						
年度毎の 目標値	10/13 地区	11/13 地区	12/13 地区	133%						
○2022 年度の実績内容等 未設置地区において立ち上げ支援を行った結果、「いっぽカフェ」（牛田地区）が7月に、中山やすらぎカフェ（中山地区）が9月に開店した。これにより13地区中12地区での設置が完了した。また、矢賀地区において次年度設置に向けての講座や地域会議の取り組みが進んでいる。 既存のカフェのうち、感染症対策の為に再開できていない馬木地区の「もみじカフェ馬木」及び上温品地区の「認知症カフェぬくぬく」については、実施会場を医療・介護施設から集会所や民家に変更できるよう協議しており、「もみじカフェ馬木」については、馬木公民館に会場を移して再開することができた。 感染症対策で休止しているカフェに代わり、牛田新町で新規のカフェ立ち上げが決定しており、立ち上げ会議や、サポーター養成講座を開催した。 ※（参考）地区別の設置状況は次ページに記載										
○2023 年度の目標値と取組方針等										
目標値	取組方針等									
12/13 地区	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き未設置地区である矢賀地区の立ち上げ支援を行う。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、活動休止したカフェの代替場所や今後のあり方について検討する。</li> </ul>									
○取組上の課題等 カフェの実施主体により新型コロナウイルス感染症の対応方針に差があり、一律の支援が難しい。										
○備考										

○ 地区別の設置状況

地区	カフェ名称	実施主体	会場	開始時期
福田	ふくだオレンジカフェ	社会福祉法人 広島常光福祉会 居宅介護支援事業所ふくだの里	福田公民館	2016年10月
馬木	もみじカフェ馬木	馬木住民	メープル馬木1階地 域交流スペース→馬 木公民館	2019年9月
上温品	認知症カフェぬくぬく(休止中)	医療法人たかまさ会 山崎病院	山崎病院屋上庭園	2015年5月
温品	温品きんさいカフェ	温品学区社会福祉協議会 有限会社リラックス 認知症サポーターステップアップ 講座修了者	世代間交流施設りら つくす保育園	2020年10月
	間所支えあいカフェ ※ ケアビレッジ温品カフェに移転	温品学区社会福祉協議会、広島 銀行(共催) 認知症サポーター養成講座修了 者(認知症サポーターステップア ップ講座修了者含む)	フォレオ広島東店広 島銀行温品支店セミ ナールーム	2021年7月 2022年2月閉店 (移転のため)
	旭が丘カフェ	温品学区社会福祉協議会 認知症サポーター養成講座修了 者(認知症サポーターステップア ップ講座修了者含む)	民家	2022年3月
	ケアビレッジ温品カフェ ※ 間所支えあいカフェから移転	温品学区社会福祉協議会 認知症サポーター養成講座修了 者(認知症サポーターステップア ップ講座修了者含む)	高齢者施設	2022年6月
東浄	認知症カフェ よりみち	東浄学区社会福祉協議会	民家	2017年7月
戸坂城山	南2丁目にここにカフェ	戸坂城山社会福祉協議会 広島第一病院	広島第一病院地域交 流スペース	2019年7月
戸坂	さくらカフェ	戸坂学区社会福祉協議会	桜ヶ丘市営住宅5号 棟1階さくらサロン	2016年11月
	太田川カフェゆう(休止中)	太田川病院 認知症支援チーム	太田川病院内	2017年10月
牛田新町	牛田新町ローズカフェ (休止中)	介護老人保健施設牛田バラ苑	牛田新町集会所1階	2018年6月
牛田	いっぽカフェ	住民	喫茶はじめのいっぽ	2022年7月
早稲田	みち草カフェ	早稲田学区社会福祉協議会	早稲田集会所1階	2020年4月
中山	中山やすらぎカフェ(café)	中山地区社会福祉協議会	中山集会所	2022年9月
尾長	オレンジカフェ ハッピーミ ルキー(休止中)	医療法人社団 ひろまさ会 谷本クリニック併設ミルクキーケア	ミルクキーケア1階	2016年4月
	認知症ケア&予防ハートホ ームCAFÉ	広島主城教会	広島主城教会	2020年2月

## アクションプラン 検証シート (2022 年度実績)

項目番号 2-(2)	具体的な取組	いきいき百歳体操に取り組もう！	担当課	地域支えあい課															
まちづくりのテーマ及び項目 2 みんなで支え合うまちづくり (2) 高齢者の健康づくり、介護予防の推進																			
事業目的・内容 誰もが介護予防に取り組むことのできる地域づくりを進めるため、高齢者が気軽に通える身近な地域の集会所等で、いきいき百歳体操等を行う「介護予防拠点」を平成 29 年度から整備している。																			
○課題と対応 介護を要する高齢者の増加が見込まれるため、地域団体等と協力して介護予防拠点を増やし、自ら健康づくりに取り組む高齢者を増やす。																			
○指標 拠点数と参加者数			○目標値の考え方 広島市高齢者施策推進プランの目標値の考え方（2025 年度までに高齢者の 1 割が参加）を踏まえ、2025 年度の東区の高齢者人口約 31,000 人のうち、1 割の 3,100 人の参加を目標とし、拠点数については、1 拠点あたりの参加者数を 20 人として設定している。 なお、2026 年度以降については、次期プランに併せて作成する。																
○目標値と進捗状況																			
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th>2021</th> <th colspan="3">2022</th> </tr> <tr> <th>実績</th> <th>目標値</th> <th>実績</th> <th>進捗率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>年度毎の目標値</td> <td>2,337 人 (99 拠点)</td> <td>2,428 人 (121 拠点)</td> <td>2,301 人 (105 拠点)</td> <td>83%</td> </tr> </tbody> </table>			年度	2021	2022			実績	目標値	実績	進捗率	年度毎の目標値	2,337 人 (99 拠点)	2,428 人 (121 拠点)	2,301 人 (105 拠点)	83%			
年度	2021	2022																	
	実績	目標値	実績	進捗率															
年度毎の目標値	2,337 人 (99 拠点)	2,428 人 (121 拠点)	2,301 人 (105 拠点)	83%															
<table border="1" style="width: 80%; margin: auto; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="5">実績進捗率算出（積み上げ式）※2019 実績値</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">2,301</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">1,685 ※</td> <td style="text-align: center;">=</td> <td style="text-align: center;">616</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">2,428</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">1,685 ※</td> <td style="text-align: center;">=</td> <td style="text-align: center;">743</td> </tr> </table>					実績進捗率算出（積み上げ式）※2019 実績値					2,301	-	1,685 ※	=	616	2,428	-	1,685 ※	=	743
実績進捗率算出（積み上げ式）※2019 実績値																			
2,301	-	1,685 ※	=	616															
2,428	-	1,685 ※	=	743															
○2022 年度の取組内容等 新規拠点として牛田地区、中山地区、矢賀地区で 1 か所、尾長地区と戸坂地区で 2 か所が開設し、福田地区で 1 か所の閉鎖があった。 既存の拠点については、6 月に拠点の責任者を対象とした「東区介護予防拠点研修会」を開催して、リハビリ専門職による「コロナ禍における介護予防活動」の講義や意見交換を行った結果、地域リハビリテーション派遣事業が活発になり、拠点活動の活性化に繋がっている。 各地域包括支援センターにおいては、高齢者がコロナ禍でも安心して介護予防ができるよう、地域におけるウォーキング活動の支援を行うとともに、グラウンドゴルフやラジオ体操等の屋外活動についても情報収集して、2022 年度の「東区地域支えあいリスト」に追加掲載した。																			
○2023 年度の目標値と取組方針等																			
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">目標値</th> <th>取組方針等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2,652 人 (132 拠点)</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・継続して活動できるよう、地域包括支援センターと連携して支援する。</li> <li>・未設置地区について、地域包括支援センターと連携して新規立ち上げ支援を行う。</li> </ul> </td> </tr> </tbody> </table>		目標値	取組方針等	2,652 人 (132 拠点)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続して活動できるよう、地域包括支援センターと連携して支援する。</li> <li>・未設置地区について、地域包括支援センターと連携して新規立ち上げ支援を行う。</li> </ul>														
目標値	取組方針等																		
2,652 人 (132 拠点)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続して活動できるよう、地域包括支援センターと連携して支援する。</li> <li>・未設置地区について、地域包括支援センターと連携して新規立ち上げ支援を行う。</li> </ul>																		
○取組上の課題等																			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・拠点参加者の高齢化に伴い、参加人数が減少している。</li> <li>・拠点代表者の高齢化に伴い、週 1 回以上の活動が困難となっている。</li> </ul>																			
○備考																			

## アクションプラン 検証シート (2022 年度実績)

項目番号 2-③	具体的な取組	地域子育てオープンスペースの参加者を増やそう！	担当課	地域支えあい課													
まちづくりのテーマ及び項目 2 みんなで支え合うまちづくり (3) 地域ぐるみの子育て支援																	
事業目的・内容 子育て中の親子が地域で孤立しないよう、子育て支援ボランティアや民生委員児童委員が中心となり、月に1回程度、公民館や集会所等で子育て親子が気軽に集い交流できる地域子育てオープンスペースを開催している。																	
○課題と対応 子育て中の親子が利用しやすいよう、地域団体と連携し、子育てオープンスペースの実施回数や実施箇所数を増やすとともに、多世代交流など多様な実施内容を取り入れ、参加者数を増やす。																	
○指標 地域の子育てオープンスペースの参加者数			○目標値の考え方 2018年度の参加者が2,712人(16か所)であったため、2020年度目標を2,900人とし、毎年度50人増やすこととする。														
○目標値と進捗状況																	
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th rowspan="2">2021実績</th> <th colspan="3">2022</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績</th> <th>進捗率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>年度毎の目標値</td> <td>708人</td> <td>3,000人</td> <td>2,015人 (オンラインおしゃべり広場含む。)</td> <td>67%</td> </tr> </tbody> </table>					年度	2021実績	2022			目標値	実績	進捗率	年度毎の目標値	708人	3,000人	2,015人 (オンラインおしゃべり広場含む。)	67%
年度	2021実績	2022															
		目標値	実績	進捗率													
年度毎の目標値	708人	3,000人	2,015人 (オンラインおしゃべり広場含む。)	67%													
○2022年度の取組内容等 コロナ禍においても、閉鎖することなく、地域の子育てオープンスペースを開催し、計画どおり、163回開催し、1,868人が参加した。外出控えや、感染対策のため予約制で実施しているところもあり、参加者数は目標には達していない。 また、コロナ禍でも自宅から参加できる「オンラインおしゃべり広場」を21回開催し、離乳食や子どもの発達や保育園入園などをテーマに取り上げ、147人が参加した。この内容は、ホームページ(2か月に1回)、ひろしま子育て応援アプリ(母子モ)(月1回)、Facebook(月1回)で発信を行い、「オンラインおしゃべり広場」のホームページについては、1月65回、2月66回、3月82回の閲覧があった。																	
○2023年度の目標値と取組方針等																	
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">目標値</th> <th>取組方針等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">3,050人</td> <td>・保健師の訪問時や乳幼児健診会場のモニターを活用した地域子育てオープンスペースの紹介等、広報を行い、参加を呼びかけていく。</td> </tr> </tbody> </table>					目標値	取組方針等	3,050人	・保健師の訪問時や乳幼児健診会場のモニターを活用した地域子育てオープンスペースの紹介等、広報を行い、参加を呼びかけていく。									
目標値	取組方針等																
3,050人	・保健師の訪問時や乳幼児健診会場のモニターを活用した地域子育てオープンスペースの紹介等、広報を行い、参加を呼びかけていく。																
○取組上の課題等 乳幼児健診会場のモニターを活用した広報や新生児訪問等での紹介など、地域の子育てオープンスペースの効果的なPRを行い、新規の利用者を増やしていく。「オンラインおしゃべり広場」についても、ホームページ・Facebook・ひろしま子育て応援アプリ(母子モ)で発信し広報していく。																	
○備考																	

## アクションプラン 検証シート (2022 年度実績)

項目番号 2-(4)-(ア)	具体的 な取組	「東区地域支えあいリスト」の掲載件数を増やそう！	担当課	地域支えあい課																				
まちづくりのテーマ及び項目 2 みんなで支え合うまちづくり (4) 地域共生社会の実現に向けた取組																								
事業目的・内容 高齢者、子ども、障害者などすべての人々が「住みなれた地域で安心して暮らすことができる」地域共生社会の実現を目指し、平成31年4月に「地域共生社会の実現に向けたネットワーク会議」を設置し、その取組の一環として、地域団体の活動をまとめた「東区地域支えあいリスト」を作成した。 子育て中の親子や高齢者、障害児・者が地域で通える場所やボランティアバンク等の生活支援の情報を、日常生活圏域（中学校区）ごとにマップとリストで掲載している。																								
○課題と対応 少子化・高齢化が進み、現在の制度では対応できないケースが増えてくることが予測されるため、地域住民や地域の多様な団体が連携し、世代や制度・分野ごとの「縦割り」を超えてつながることで、子ども、高齢者、障害者など、全ての人々が地域、暮らし、生きがいを共に創り、高め合うことができる社会を実現する。																								
○指標 ※2021 年度に指標上方修正 地域支えあいリストの掲載件数			○目標値の考え方 2019 年度の掲載件数の 296 件をベースにして、今後いきいき百歳体操と認知症支えあいカフェの実施団体の増加を年 12 件～17 件見込んでいる。 なお、2026 年度以降については、2025 年度に作成する。																					
○目標値と進捗状況																								
年度	2021 実績	2022																						
		目標値	実績	進捗率																				
年度毎の 目標値	345 件	<u>352 件</u>	404 件	193%																				
<table border="1" style="margin: auto; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="5" style="text-align: center;">進捗率算出（積み上げ式）</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">404</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">296 ※</td> <td style="text-align: center;">=</td> <td style="text-align: center;">108</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">352</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">296 ※</td> <td style="text-align: center;">=</td> <td style="text-align: center;">56</td> </tr> <tr> <td colspan="5" style="text-align: center;">※2019 実績値</td> </tr> </table>					進捗率算出（積み上げ式）					404	-	296 ※	=	108	352	-	296 ※	=	56	※2019 実績値				
進捗率算出（積み上げ式）																								
404	-	296 ※	=	108																				
352	-	296 ※	=	56																				
※2019 実績値																								
○2022 年度の取組内容等 9月のリスト更新に向けて、4月の「地域共生社会の実現に向けたネットワーク会議」の実務者協議において、地域包括支援センター及び東区社会福祉協議会に、リストデータの更新を依頼した。5月には、地区社会福祉協議会の代表者や関係団体等にリストの更新について依頼した。 今年度は、コロナ禍でも活動しやすいグラウンドゴルフ、ラジオ体操、ウォーキング等の屋外活動について、各地域包括支援センターにおいて情報収集し、新規項目として59件を追加した。 9月に完成し、委員や地域団体への配付及びホームページの更新を行った。																								
○2023 年度の目標値と取組方針等																								
目標値	取組方針等																							
<u>374 件</u>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東区地域支えあいリストの更新及び広報</li> <li>・東区地域共生社会の実現に向けたネットワーク会議の開催</li> </ul>																							
○取組上の課題等 新たな掲載情報について、引き続き情報収集を行っていく。																								
○備考																								

## アクションプラン 検証シート（2022 年度実績）

項目番号 2-(4)-(イ)	具体的な取組	医師会や歯科医師会等の医療介護関係者と地域団体が連携した活動を増やそう！	担当課	地域支えあい課																								
まちづくりのテーマ及び項目 2 みんなで支え合うまちづくり (4) 地域共生社会の実現に向けた取組																												
事業目的・内容 誰もが、住み慣れた地域で最後まで安心して暮らせるためには、医療・介護ネットワーク（医療介護関係者）と介護予防・生活支援ネットワーク（地域団体）の有機的な連携を進める必要がある。このため、「認知症支えあいカフェ」への医療介護関係者による支援や、地域団体の研修会等への医療介護関係者による講師派遣等を行う。																												
○課題と対応 少子化・高齢化が進み、現在の制度では対応できないケースが増えてくることが予測されるため、地域住民や地域の多様な団体が連携し、世代や制度・分野ごとの「縦割り」を超えてつながることで、子ども、高齢者、障害者など、全ての人が地域、暮らし、生きがいを共に創り、高め合うことができる社会を実現する。																												
○指標 ※2021 年度に指標上方修正 医療介護関係者と地域団体が連携した地区数			○目標値の考え方 2020 年度から2地区社協エリアで開始し、毎年度2地区増やし、2025 年度 13 地区全ての地区で実施することとする。																									
○目標値と進捗状況																												
年度	2021 実績	2022																										
		目標値	実績	進捗率																								
年度毎の 目標値	9/13 地区	<u>13/13</u> 地区	13/13 地区	100%																								
<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: 0;"> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">実績進捗率算出（積み上げ式）</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">13</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">0 ※</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">-----</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">13</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">0 ※</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">-----</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"></td> <td style="text-align: center;">=</td> <td style="text-align: center;">13</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">13</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">※2019 年度実績</td> </tr> </table>					実績進捗率算出（積み上げ式）			13	-	0 ※	-----			13	-	0 ※	-----				=	13	13			※2019 年度実績		
実績進捗率算出（積み上げ式）																												
13	-	0 ※																										
-----																												
13	-	0 ※																										
-----																												
	=	13																										
13																												
※2019 年度実績																												
○2022 年度の実績内容等 認知症支えあいカフェの新規立ち上げ支援として、6月に牛田地区の「いっぽカフェ」、7月に中山地区の「中山やすらぎカフェ」、11月に次年度立ち上げ予定の矢賀学区、3月に次年度立ち上げ予定の牛田新町の「カフェさかみち」において、医療介護関係者による認知症サポーター養成講座を開催した。 また、いきいき百歳体操を行う高齢者の通いの場に薬剤師又は歯科衛生士を派遣して健康教育を実施し、目標である全 13 地区での実施が完了した。 ※（参考）地区別の取組内容は次ページに記載																												
○2023 年度の目標値と取組方針等																												
目標値	取組方針等																											
<u>13/13</u> 地区	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 認知症支えあいカフェの新規立ち上げ支援として医療・介護関係者を派遣する。</li> <li>• 地域の通いの場に薬剤師又は歯科衛生士を派遣して健康教育を行う。</li> <li>• 地域の実状やニーズに応じて、医師、歯科医師及びリハビリテーション専門職を派遣する。</li> </ul>																											
○取組上の課題等 認知症支えあいカフェや地域の通いの場については、新型コロナウイルス感染症の5類移行を考慮し、基本的な感染対策を行いながら、安全に開催できるよう支援する。																												
○備考																												

○ 地区別の取組内容

※ 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業に関する取組は別表に記載。

地区	項目	取組内容	開始時期
温品	医療介護関係者による認知症支援あいカフェの立ち上げ支援	温品学区社会福祉協議会が介護保険事業所(有りらっくす)と協働し、認知症支援あいカフェ「温品きんさいカフェ」を開設。また、立ち上げに当たり、認知症アドバイザーである介護支援専門員を講師とした研修会を開催。	2020年7月
早稲田	医療介護関係者による認知症支援あいカフェの立ち上げ支援	認知症支援あいカフェ「早稲田みち草カフェ」(主催:早稲田学区社会福祉協議会)の立ち上げに当たり、認知症サポート医や認知症アドバイザーである介護支援専門員を講師とした研修会を開催。	2020年7月
	地域防災プラットフォームへの医師の参加	「早稲田学区地域防災プラットフォーム」のメンバーに東区医師会から医師が参加し、災害時における医療・救護対応やトリアージ等について助言を行う。	2021年10月
牛田 ※既実施地区	医療介護関係者による認知症支援あいカフェの立ち上げ支援	認知症支援あいカフェ「いっぽカフェ」(主催:牛田学区社会福祉協議会)の立ち上げに当たり、認知症アドバイザーである介護支援専門員を講師とした研修会を開催。	2022年6月
中山 ※既実施地区	医療介護関係者による認知症支援あいカフェの立ち上げ支援	認知症支援あいカフェ「中山やすらぎカフェ(café)」(主催:中山地区社会福祉協議会)の立ち上げに当たり、認知症アドバイザーである介護支援専門員を講師とした研修会を開催。	2022年7月
矢賀 ※既実施地区	医療介護関係者による認知症支援あいカフェの立ち上げ支援	認知症支援あいカフェ(主催:矢賀学区社会福祉協議会)の立ち上げに当たり、認知症アドバイザーである介護支援専門員を講師とした研修会を開催。	2022年11月
牛田新町 ※既実施地区	医療介護関係者による認知症支援あいカフェの立ち上げ支援	認知症支援あいカフェ(主催:牛田新町住民有志)の立ち上げに当たり、認知症アドバイザーである介護支援専門員を講師とした研修会を開催。	2023年3月

(別表) 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業に関する取組

※ 以下の高齢者の通いの場へ薬剤師又は歯科衛生士を派遣し、健康教室を開催している。

地区	高齢者の通いの場 (いきいき百歳体操)	開始時期
上温品	はつらつ健康クラブ上温品 (主催: 地域住民)	2020年11月
戸坂城山	元気で来んさい会 数甲 (主催: 数甲長寿会・町内会)	
尾長	丸山自治会百歳体操 (主催: 丸山自治会)	
牛田	かうちゃんクラブ (主催: 地域住民)	2021年11月
	牛田本町3丁目いきいき健康サロン (主催: 牛田本町3丁目町内会)	
戸坂	ダイヤ会 (主催: ダイヤパレス牛田天水苑自治会)	2021年12月
温品※既実施地区	いきいき健康体操 (主催: 温品学区社会福祉協議会)	
矢賀	ファミリー (主催: ファミールマンション)	
福田	きのむね会 (主催: 連合町内会)	
東浄	元気じゃけん体操 (主催: 個人)	2022年5月
中山	東・元気会 (主催: 中山東町内会)	
矢賀※既実施地区	ひまわりの会 (主催: アジサイの会【矢賀2丁目地域住民】)	2022年11月
牛田※既実施地区	牛田本町三丁目いきいき健康サロン (主催: 牛田本町三丁目町内会)	
馬木	笑顔体操会 (主催: 馬木ボランティア活動)	
尾長※既実施地区	さくら会 (主催: 山根西周辺住民有志)	2022年12月
上温品※既実施地区	上温品66クラブ (主催: 地域住民)	
福田※既実施地区	五月丘集会所 (主催: 五月丘町内会)	
戸坂※既実施地区	桜が丘健康体操 (主催: 桜上町地域住民)	
牛田新町	牛田新町一丁目第一老人クラブ (主催: 牛田新町一丁目第一老人クラブ)	
早稲田※既実施地区	早稲田四丁目 ちゃのみば (主催: 早稲田社協、町内会、睦会、民生委員児童委員)	2023年1月
戸坂城山 ※既実施地区	フレッシュ女性会いきいき100歳体操 (主催: 出江女性会)	2023年2月

## アクションプラン 検証シート（2022 年度実績）

項目番号 2-(4)-(ウ)	具体的な取組	地域共生社会の実現のため、多世代交流の場を立ち上げよう！	担当課	地域支えあい課
まちづくりのテーマ及び項目 2 みんなで支え合うまちづくり (4) 地域共生社会の実現に向けた取組				
事業目的・内容 公民館や集会所等で、子ども、高齢者、障害者などを対象とした多世代交流の場を設置し、茶話会や季節の行事等を定期的で開催することで、協働による相乗効果や新たな担い手の発掘など、効率的な取組に発展させる。				
○課題と対応 少子化・高齢化が進み、現在の制度では対応できないケースが増えてくることが予測されるため、地域住民や地域の多様な団体が連携し、世代や制度・分野ごとの「縦割り」を超えてつながることで、子ども、高齢者、障害者など、全ての人が地域、暮らし、生きがいを共に創り、高め合うことができる社会を実現する。				
○指標 多世代交流の場の開催地区数		進捗率算出（積み上げ式） $\frac{8 - 2 ※}{8 - 2 ※} = \frac{6}{6}$ ※2019 実績値	○目標値の考え方 2018 年は 1 地区（戸坂地区）の地区社協のエリアで開催しており、2019 年までは年 1 地区（尾長地区）ずつ、2020 年からは年 2 地区ずつ増やし、2025 年度には 13 か所全ての地区で開催することとする。	
○目標値と進捗状況				
年度	2021 実績	2022		
		目標値	実績	進捗率
年度毎の 目標値	6/13 地区	8/13 地区	8/13 地区	100%
○2022 年度の取組内容等 <ul style="list-style-type: none"> <li>・安楽寺（牛田地区）のウォーキング活動に子育て中の親子の参加が始まり、10 月からは 2 か所の障害者支援事業所が自主製品の販売を開始した。</li> <li>・戸坂城山地区では、新型コロナウイルス感染症拡大のため、中止となっていたこども食堂での交流が 12 月に再開された。</li> <li>・牛田新町地区では、10 月の「いきいき健康フェスティバル」に大学生が参加し、パークスポーツの遊び方の指導を行い、参加した乳幼児・小学生やその保護者、高齢者と交流した。また、子育てオープンスペース「わくわく・しんまち」に大学生が参加し、乳幼児やその保護者、ボランティアと交流した。</li> </ul> ※（参考）地区別の取組内容は次ページに記載				
○2023 年度の目標値と取組方針等				
目標値	取組方針等			
10/13 地区	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多世代交流や、障害者と地域住民の交流につながる活動を様々な機会を通じて紹介するなど、横展開を図り、未実施地区での実施を目指していく。</li> </ul>			
○取組上の課題等 <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域団体主催のウォーキングの取組に合わせて、子育て中の親子の参加ができるよう、調整し、PR を進めていく。</li> <li>・販路の拡大、地域との交流に当たっては、障害者支援事業所の人的資源に限りがあるため、事業所にもメリットがある場の設定を進めていく。</li> </ul>				
○備考				

(参考) 地区別の取組内容

地区	取組内容	備考	
戸坂	<ul style="list-style-type: none"> <li>いきいき百歳体操「くるめ木健康体操」：健康相談室に来所した親子と交流</li> </ul>	2022年度 休止中	
戸坂城山	<ul style="list-style-type: none"> <li>こども食堂「らくらく広場」：地域の小学生と高齢者、大学生が交流</li> </ul>	2022年12月 に再開	
東浄	<ul style="list-style-type: none"> <li>いきいき百歳体操「戸坂新町いきいきサロン」「いきいき百歳体操 in 中山台」：障害者支援事業所「つくしんぼ作業所」が栽培した野菜や焼き菓子を販売し、高齢者と交流</li> <li>中山台集会所「花の寄せ植え会」：障害者支援事業所「つくしんぼ作業所」が栽培した野菜や焼き菓子を販売し、地域住民と交流</li> <li>東浄子ども行事（縁日）：障害者支援事業所が自主製品を販売</li> </ul>	2021年7月 から実施（8・9 月は、コロナで休止）	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>戸坂新町郵便局</li> </ul>	2か所の郵便局において、障害者支援事業所「つくしんぼ作業所」が自主製品を販売	2022年度も 継続実施中
尾長	<ul style="list-style-type: none"> <li>グラノード広島郵便局</li> </ul>	2か所の郵便局において、障害者支援事業所「つくしんぼ作業所」が自主製品を販売	2022年度も 継続実施中
	<ul style="list-style-type: none"> <li>いきいき百歳体操「片河クリスタル」：障害者支援事業所「SOARきつつき」が自主製品を販売</li> </ul>		2022年度 休止中
	<ul style="list-style-type: none"> <li>「エキキタおながフェスタ 2021」：来場者参加賞として、4か所の障害者支援事業所（はぐくみの里、まごころの家 若草、きつつき共同作業所、ハートリンク）が焼き菓子や小物を詰め合わせにし、提供</li> <li>「エキキターレ秋フェスタ」：来場者参加賞として、2か所の障害者支援事業所（はぐくみの里、きつつき共同作業所）が焼き菓子を配布</li> <li>「エキキタキッズフェスタ」：来場者参加賞として、3か所の障害者支援事業所（はぐくみの里、きつつき共同作業所、つくしんぼ作業所）が焼き菓子を配布</li> <li>「広島ガーデンパレス朝市」：5か所の障害者支援事業所（はぐくみの里、まごころの家 若草、きつつき共同作業所、ハートリンク、つくしんぼ作業所）が自主製品の販売協力を実施</li> </ul>		2022年度も 継続実施中
中山	<ul style="list-style-type: none"> <li>子育てオープンスペース「中山子育ての集い」：障害者支援事業所「SOARきつつき」が自主製品を販売</li> </ul>		2022年度 休止中
	<ul style="list-style-type: none"> <li>いきいきサロン「さくらんぼの会」：障害者支援事業所（はぐくみの里、スマイル中山）が自主製品を販売</li> </ul>		2022年度も 継続実施中
牛田 早稲田	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域のウォーキングの拠点「早稲田神社まで歩こう！」：4か所の障害者支援事業所（まごころの家 若草、きつつき共同作業所、SOARきつつき、つくしんぼ作業所）が自主製品を販売し、障害者が地域住民（高齢者や乳幼児の親子）と交流</li> <li>「東区牛田山ぐるっとハイキング」：参加賞として、障害者支援事業所の自主製品を提供</li> </ul>		2021年10月 から実施
牛田	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域のウォーキングの拠点「安楽寺まで歩こう！」：2か所の障害者支援事業所（つくしんぼ作業所・きつつき共同作業所）が自主製品の販売を開始。子育て中の親子も参加し、交流</li> </ul>		2022年10月 から実施
牛田新町	<ul style="list-style-type: none"> <li>「いきいき健康フェスティバル」：大学生が参加し、パークスポーツの遊び方の指導を行い、参加した乳幼児・小学生やその保護者、高齢者と交流</li> <li>子育てオープンスペース「わくわく・しんまち」：大学生が参加し、乳幼児やその保護者、ボランティアと交流</li> </ul>		2022年度 から実施

## アクションプラン 検証シート (2022 年度実績)

項目番号 2-(5)-(ア)	具体的な取組 元気じゃ健診を受けよう！	担当課 地域支えあい課		
まちづくりの方向性及び項目 2 みんなで支え合うまちづくり (5) 地域で取り組む生活習慣病予防				
事業目的・内容 区民の健康の保持増進、健康寿命の延伸を図るため、生活習慣病の早期発見等を目的に、元気じゃ健診(40歳～74歳の方；特定健康診査、75歳の方；健康診査)を実施しているが、受診者が少ない。このため、平成31年度から社会福祉協議会と連携し、「自分の健康は自分で守る」という意識のもと、地域ぐるみで住民同士が呼び掛け合って健診受診ができるよう、モデル地区を定めて巡回健診のPRチラシ作成・配付をする等、受診率向上に向けた取組を行っている。				
○課題と対応 平均寿命と健康寿命の差が大きいため、食生活や運動などの生活習慣を改善するとともに、疾病や、加齢に伴う心身機能の低下(フレイル)の早期発見のため、特定健康診査受診率を高めることにより健康寿命を延ばす。				
○指標 特定健康診査受診率 (対象：広島市国民健康保険に加入する40歳～74歳の者)		○目標値の考え方 目標値は、「広島市国民健康保険特定健康診査等実施計画【第3期：2018年度～2023年度】」の2023年度の目標値50%を基に設定している。 ＜参考＞2021年度特定健康診査受診率：広島市 24.8%、東区 24.8%		
○目標値と進捗状況				
年度	2021 実績	2022		
		目標値	実績	進捗率
年度毎の 目標値	24.8% (確定値)	45%	※21.5% (5月末暫定値)	48%
※当年度の実績(受診率)について 2023年11月頃に2022年度実績(確定値)が判明する。				
○2022年度の取組内容等				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・東区受診率向上集中対策期間の受診券を発送する4月、受診勧奨ハガキを送付する9月及び1月に区役所 広告モニターやFacebook、市民と市政9月1日号で受信奨励メッセージを発信した。</li> <li>・地域団体や医療・福祉団体の会議で受診率向上の取組について説明し、協力を依頼するとともに、歯科医院、薬局、公衛協、保育園、幼稚園へポスター掲示を依頼した。</li> <li>・地区担当保健師が医療機関を訪問し、健診の積極的実施やポスター・ステッカーの掲示を依頼した。</li> <li>・若い世代向け啓発チラシをこんにちは赤ちゃん事業や乳幼児健診等で配付した。</li> <li>・7地区の健診サポーター会議において、効果的な受診率向上の取組について協議し、女性会会員による声かけやチラシ配布等を実施した。また、老人クラブ連合会に対しても協力を依頼した。</li> <li>・地区担当保健師・地域包括支援センター職員・医師の情報交換会において、効果的な受診率向上の取組について協議し、2か所の医療機関で試行的に元気じゃ健診の受診勧奨動画を放映することとした。</li> </ul>				
○2023年度の目標値と取組方針等				
目標値	取組方針等			
50%	地域団体・医療介護関係機関と連携し、ポスター掲示や啓発チラシ、モニター広告を活用し、各世代への効果的な受診率向上の取組を実施する。			
○取組上の課題等 受診率向上を目指し、新たな取組も実施したが、目標値の達成には至っていない。どのような取組が受診率向上に結びつくかを検討し、効果的な取組を重点的に行う。				
○備考				

## アクションプラン 検証シート (2022 年度実績)

項目番号 2-(5)-(イ)	具体的な取組	野菜摂取量を増やすため、地元の野菜を食べよう！	担当課	地域支えあい課
まちづくりのテーマ及び項目 2 みんなで支え合うまちづくり (5) 地域で取り組む生活習慣病予防				
事業目的・内容 住民一人一人が自分自身の健康に関心を持ち、野菜摂取の大切さ、栄養バランスを意識した食事について理解を深めることを目的として、健康教室の開催、個別相談等を行っている。平成 26 年度からは区役所食堂において、健康に関する情報の発信、健康相談（年4回）、「元気じゃけん定食」の提供支援（月 2 回）等を通じた啓発を行っている。				
○課題と対応 平均寿命と健康寿命の差が大きいため、食生活や運動などの生活習慣を改善するとともに、疾病や、加齢に伴う心身機能の低下（フレイル）の早期発見のため、特定健康診査受診率を高めることにより健康寿命を延ばす。				
○指標 地元野菜を活用したレシピの数			○目標値の考え方 すこやか食生活推進リーダー※1 及び食生活改善推進員※2 と連携し、毎年、夏野菜と冬野菜を使ったレシピを1品ずつ計2品を開発する。 ※1 地域で健康増進・栄養改善活動を行う本市登録の管理栄養士又は栄養士 ※2 本市実施の食生活改善推進員養成講座を修了し登録したボランティア	
○目標値と進捗状況				
年度	2021 実績	2022		
		目標値	実績	進捗率
年度毎の 目標値	2品/年	2品/年	2品/年	100%
○2022 年度の取組内容等 市民健康・栄養調査（2021 年）の結果、広島市民の約 4 割が朝食で野菜を食べていない状況を踏まえ、「朝食で手軽に野菜が食べられる」をテーマに、レシピを2品作成した。作成したレシピは市の公式 Twitter 及び YouTube に掲載し、東区役所の乳幼児健診会場で動画配信している。 これまでに作成したレシピは、Facebook や子育て応援アプリで情報提供するとともに、大学祭や区役所職員食堂、二葉公民館、乳幼児健診、子育て世代向けの訪問事業等で配布した。また、実演・試食型の教室を開催し、レシピの啓発を行った。				
○2023 年度の目標値と取組方針等				
目標値	取組方針等			
2品/年	<ul style="list-style-type: none"> <li>• コンビニ商品や身近な食材を使い、簡単な手順でできるレシピを考案する。</li> <li>• 乳幼児健診会場のモニターを使用した動画によるレシピ紹介や、市の公式 SNS を活用した情報発信について取組を進める。</li> <li>• 大学との連携事業を活用し、若い世代への啓発に努める。</li> </ul>			
○取組上の課題等 特になし。				
○備考				

## アクションプラン 検証シート（2022 年度実績）

項目番号 2-(5)-(ウ)	具体的な取組	東区を歩いて、運動習慣を身につけよう！	担当課	地域支えあい課	
まちづくりのテーマ及び項目 2 みんなで支え合うまちづくり (5) 地域で取り組む生活習慣病予防					
事業目的・内容 区民一人一人が自分自身の健康に関心を持ち、健康ウォーキングに取り組むきっかけづくりを目的に、平成18年度から各地区公民館等で健康ウォーキング教室を開催し、ウォーキングの普及啓発に取り組んでいる。平成19年度からは、年1回各地区のウォーキングコースを活用した「健康ウォーキングのつどい」を東区公衆衛生推進協議会及び、東区スポーツセンターと共催で開催していたが、新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴い、令和2年度以降中止となっている。令和4年度からは、新たな取組として「新牛田公園・牛田総合公園いきいき健康フェスティバル」を開催している。 一方、コロナ禍で生まれた活動として、地域団体が主催する週1回自宅から地域の拠点に歩く取組が開始しており、健康づくりや介護予防に効果的な活動へと発展している。					
○課題と対応 平均寿命と健康寿命の差が大きいため、食生活や運動などの生活習慣を改善するとともに、疾病や、加齢に伴う心身機能の低下（フレイル）の早期発見のため、特定健康診査受診率を高めることにより健康寿命を延ばす。					
※2021年度に指標②追加 ○指標① 「健康ウォーキングのつどい」の60歳未満参加者割合 指標② 週1回程度ウォーキング活動をする地区数			○目標値の考え方 指標①：2018年度、2019年度の60歳未満参加者割合（アンケート回答者より算出）は、それぞれ3%、6%であった。2020年度は、10%以上、2022年度は15%以上、2025年度は20%以上とする。 指標②：2021年度実績が6地区のため、2025年度には13地区全ての地区で実施することとする。ウォーキング活動とは、地域団体が実施主体となり、概ね地(学)区単位での活動を計上する。		
○目標値と進捗状況					
		2021 実績	2022		
			目標値	実績	進捗率
年度毎の 目標値	指標①	— 【中止】	15% 以上	16.6%	111%
	指標②	6/13 ※ 地区	7/13 地区	6/13 地区	86%
※6地区が活動していたため、6/13地区に修正					
○2022年度の取組内容等 「健康ウォーキングのつどい」は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から中止した。新たな取組として、10月に「新牛田公園・牛田総合公園いきいき健康フェスティバル」を開催し、その中で実施したフォレストウォークには24名の参加があった（うち60歳未満の参加者は4名）。 ウォーキング活動をする地区数については、目標達成には至らなかったが、新たな活動の場の立ち上げに向けて、地域でのウォーキング活動の実態を把握した。					
○2023年度の目標値と取組方針等					
目標値		取組方針等			
指標① 15%以上		健康ウォーキングのつどいについて、関係団体と今後の方向性等について検討する。「新牛田公園・牛田総合公園いきいき健康フェスティバル」におけるウォーキングイベントにおいて若年層の参加を働きかける。			
指標② 10地区		地（学）区単位の団体に働きかけ、週1回程度ウォーキング活動をできる場を増やす。			
○取組上の課題等 新たに「新牛田公園・牛田総合公園いきいき健康フェスティバル」を開催したが、ウォーキング参加者は依然として高齢者が多く、今後も若年層の参加を促すような働きかけが必要である。 週1回程度ウォーキング活動をする地区数の増加について、来年度は立ち上げ地区を選定し、働きかけを行っていく。					
○備考					